

CSRを基軸にした経営

当社グループが、「お客さまのお役に立ち続ける」グループ企業として成長し発展する基盤は、社会のみなさまから頂戴する信頼であるとの考えに基づき、CSRを確実に実践できる体制を整えています。これからもCSRを基軸とした経営を続けていきます。

	1950年・1960年代	1989年～2008年	2009年～
出来事	1951年 ▼関西電力(株)発足	2000年 ▼電力部分自由化 2004年 ▼電力自由化拡大(高圧) ▼美浜3号機事故	2011年 ▼東日本大震災 2016年4月 ▼電力小売全面自由化 2017年4月 ▼ガス小売全面自由化
理念・ビジョン	1951年 ●前垂れがけの精神 ●社訓「良識・勤勉・友愛」 1964年 ●関電サービスの確立「ほ・ま・ち」	2004年3月 ●関西電力グループ経営ビジョン“お客さま満足No.1企業”	2016年3月 ●経営理念 ●私たちの基本姿勢 ●関西電力グループビジョン
CSR		2004年3月 ●関西電力グループCSR行動憲章 2005年5月 ●関西電力グループCSR行動規範	2016年3月 ●関西電力グループCSR行動憲章
主な活動と取り組み		2004年4月 ●第1回CSR推進会議を開催 2005年12月 ●CSR推進グループを設置し、専任体制化 ●CSRキーパーソンを選任	2014年3月 ●CSR活動の開始から10年

関西電力グループCSR行動憲章

基本的な考え方

関西電力グループの事業活動は、お客さま、地域社会のみなさま、株主・投資家のみなさま、ビジネスパートナー、従業員、そのほか社会の多くのみなさまによって支えられています。

こうしたみなさまから頂戴する信頼こそが、関西電力グループが企業としての使命を果たし、持続的に成長を遂げていくための基盤です。

関西電力グループは、コンプライアンスや透明性の確保など、社会の一員としての責務を確実に果たすとともに、グループの事業活動に対して社会のみなさまから寄せられる期待に誠実にお応えすることにより、社会の持続的発展と明るく豊かな未来の実現に貢献し、みなさまからの信頼を確固たるものとしていきたいと考えています。

このような認識のもと、関西電力グループは、CSR行動原

則※に基づき、全ての事業活動を展開し、企業としての社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)を全うします。

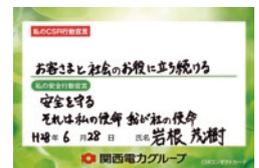
※ 各原則の本文はP37をご覧ください

CSRコンダクトカードの携帯

当社グループの経営理念体系やCSR行動原則を携帯用のCSRコンダクトカードに記載しています。全従業員に配布し、裏面は各自が行動宣言を記入し、自らの業務における行動や目標の確認に活用しています。



CSRコンダクトカード



社長の行動宣言

[WEB 詳細は…](#) [関西電力グループCSR行動憲章](#)

関西電力 調達基本方針～CSRを踏まえた調達活動～ (2018年4月改正)

当社の調達部門は、安全最優先を前提とした「コスト低減」と「安定調達の両立」を理念とし、安全・品質・価格面で優れた資機材・サービスを適切な時期に調達しています。品質の維持、環境・人権への配慮、コンプライアンスの徹底など、7項目からなる「調達活動の行動基準」に則り、CSRを踏まえた調達活動を実践し、社会貢献や価値創造に取り組めます。

これらの調達活動は大切なパートナーである取引先のみな

さまによって支えられておりますので、みなさまに取組みをご理解いただけるよう、契約交渉時や取引先訪問などの機会をとらえ、調達基本方針の説明、浸透に努める活動に取り組んでいます。

調達活動の行動基準

1. 安全の最優先
2. コスト低減活動の推進
3. 資機材・サービスの安定調達・品質・技術力の維持・向上
4. 強固なパートナーシップの確立
5. 社会への貢献と環境への配慮
6. 透明性の高い開かれた取引
7. コンプライアンスの徹底

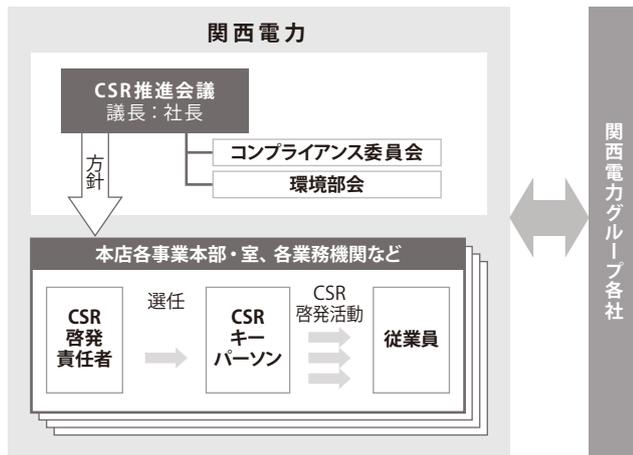
[WEB 詳細は…](#) [関西電力 調達活動](#)

CSR を確実に実践する体制を整備

CSR 推進会議を中心とした CSR 推進体制

当社は、社長を議長とするCSR推進会議を設置し、当社グループ全体のCSR推進に関する総合的な方針を策定し、具体的な活動を展開しています。また、専門的な課題は、「コンプライアンス委員会」や「環境部会」など下部組織にて検討を重ねています。こうした体制のもと、各事業本部などはCSR推進会議で策定された方針に基づき、それぞれの活動を展開しています。CSR意識の啓発においては、各部門などの長をCSR啓発責任者とし、各職場にCSRキーパーソンを選任することでCSR啓発活動を推進しています。グループ会社においても、当社とコミュニケーションを取りながら、自律的にCSR活動を展開しています。

CSR推進体制



経営層と第一線職場のコミュニケーション

当社は、社長をはじめ経営層がさまざまな機会を通じて積極的に第一線職場へ外向き、対話をおこなっています。経営層が安全への思いや大切さを直接伝え、CSRの理解浸透・促進に取り組んでいます。その際には、意見の交換などによって、各職場の課題や問題の早期把握に努め、その後の経営に反映させています。



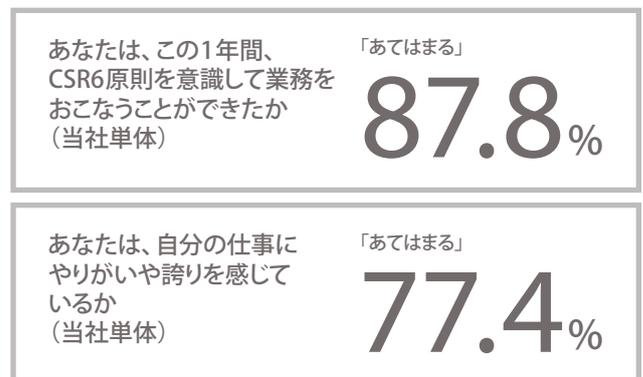
難波事業所での社長対話

従業員に対するCSR啓発活動

従業員には「CSRの実践」と「職場風土の改善」の啓発という取組みを継続しておこなっています。「日々の業務を確実に遂行すること（CSRの実践）」がお客さまや社会のみなさまからの信頼につながるのと認識を強め、その実践のための啓発活動に注力しています。

こうした取組みを木に例えると、「職場風土の改善」は、直接目に見えない根の部分（従業員一人ひとりの意識・職場風土）に栄養を与え、より強くする活動であり、「CSRの実践＝日々の業務の確実な遂行」は、表に現れる幹や葉など（6つのCSR行動原則）を大きく成長させる活動といえます。このような考えのもと、当社は各職場でCSR推進役として選任されたCSRキーパーソンが中心となって、自律的な取組みを実施し、全従業員に対して啓発活動をおこなっています。また、全従業員を対象とした「CSRに関する全従業員アンケート」を毎年実施しており、従業員に対するCSR活動の分析と評価、各職場へのフィードバックをおこなっています。

CSRに関する全従業員アンケートの結果（2017年11月実施）



CSR推進活動のイメージ

